

Overview: キリストの人性は、あらゆる面できめが細かく、完全で、柔和で、均衡がとられ、正しく、過度も不足ありません。この人性が、穀物のささげ物の実際です。私たちと神との間の第二番目の問題は、私たちの人性が、バランスが悪く、均衡がとれていないことです。私たちは、穀物のささげ物としてのキリストを食べるなら、私たちが食べたものとなり、私たちが食べたものによって生きます。私たちは、霊を活用して御言の中に具体化されているその霊に触れることによって、イエスの人の命と生活を食べ、イエスで構成され、イエスの人の生活は私たちの人の生活となります。穀物のささげ物は俗的な食物ではなく、福音の祭司の体系の中で神に仕えている真の実践的な祭司である、召会生活の中の信者たちのためだけの食物です。

Ⅲ. 穀物のささげ物は、成就された神・人々による団体的な生活である召会生活を予表します:

A. キリストの生活と私たち個人のクリスチャン生活は、一つの総合計を、すなわち団体的な穀物のささげ物としての召会生活を生み出します。

B. 穀物のささげ物の召会生活はコリント人への第一の手紙において見られます:

1. キリストは、神が私たちに与えた人です。
2. コリント人に対するパウロの「人になりなさい」という命令が意味するのは、私たちが高く、引き上げられたイエスの人性を持つべきであるということです。
3. 召会生活は、その霊によって油塗られ、その霊をもって油塗られ、その霊に結合された人性の生活です。
4. 今日私たちが享受している神の恵みは、命を与える霊としての復活したキリストです。

a. 私たちは、キリストと共に日ごとに自分に対して死ななければなりません。それは私たちがキリストと共に日ごとに神に対して生きるためです。b. 私たちは、私たちが召された身分の中で神と一であり、神に私たちと共にいていただくことによって、復活の実際を実証しなければなりません。c. 私たちは、天然の命や天然の能力によって労苦するのではなく、私たちの復活の命また力としての主によって労苦しななければなりません。

I. 穀物のささげ物は、神・人の生活におけるキリストを予表します:

A. きめの細かい小麦粉は、穀物のささげ物の主要な要素であり、キリストの人性を表徴します。それはあらゆる面できめが細かく、完全で、柔和で、均衡がとられ、正しく、過度も不足ありません。これは、キリストの人の生活と日ごとの歩みの美しさと卓越性を表徴します。

B. 穀物のささげ物の油は、キリストの神聖な要素としての神の霊を表徴します。

C. 穀物のささげ物におけるきめの細かい小麦粉と油を混ぜ合わせたことが表徴しているのは、キリストの人性が聖霊とミングリングされ、彼の人の性質が神の神聖な性質とミングリングされて、彼を神・人にするということです。彼は神性と人性を区別をもって所有しており、第三の性質が生み出されることはありません。

D. 穀物のささげ物における乳香は、復活におけるキリストのかおりを表徴します。乳香がきめの細かい小麦粉の上に加えられたことは、キリストの人性が彼の復活の芳香を帯びていることを表徴します:』

1. 四福音書に描写されているように、キリストは彼の神性とミングリングされた人性の中の生活をし、彼の苦難の中から復活を表現しました。2. その霊で満たされ、復活で浸透されたキリストの生活は、神にとって満足させるかおりであり、神に安息、平安、喜び、享受、完全な満足を与えます。

E. 穀物のささげ物に味を付けた塩は、キリストの死あるいは十字架を表徴します。塩の機能は、味を付け、殺菌し、防腐することです:

1. 主イエスは常に、塩づけられた生活、すなわち、十字架の下の生活をしました。2. キリストは、実際に十字架につけられる前でさえ毎日、十字架につけられた生活をし、ご自身と彼の天然の命を呑み、復活の中で御父の命を生きました。3. 神の契約の基本的な要因は、十字架、すなわちキリストの十字架であって、それは塩によって表徴されます。十字架によって、神の契約は守られ、永久の契約となります。

F. 穀物のささげ物にパン種がないことは、キリストの中に罪や消極的な事物が何もないことを表徴します。

G. 穀物のささげ物に蜜がないことは、キリストの中に天然の感情や天然の善良さが無いことを表徴します。』

Ⅳ. 私たちは穀物のささげ物の規則を見る必要があります。穀物のささげ物の規則は、ささげ物としてのキリストに対する享受に関する規定と規制です。ささげ物の実際はキリストであるので、ささげ物の規則はキリストの命の法則、すなわち命の霊の法則に符合します。これらの規則が示しているのは、キリストを享受することにおいてでさえ、私たちは規則のない者であってはならず、命の法則によって規制されるべきであるということです:

A. 「エホバの御前に」は、穀物のささげ物が神の臨在の中で神にささげられることを表徴します。「祭壇の前で」は、穀物のささげ物がささげられることが、十字架上のキリストの贖いと関係があることを表徴します。祭壇は十字架の予表です。

B. 穀物のささげ物の小麦粉と油との一部、乳香のすべては、神の食物でした。このことが表徴するのは、キリストの卓越した、完全な、その霊で満たされ復活で浸透された生活が食物として神にささげられ、彼に享受を与えたということです。この分け前は神を十分に満足させたので、記念となりました。ささげ物の残りの部分は、きめの細かい小麦粉と油から成っており(しかし乳香はない)、仕える祭司たちの食物でした:

1. 全焼のささげ物は神の食物であって、神を満足させます。穀物のささげ物は私たちの食物であって、私たちが満足させます。またその中の一部分は神と分かち合います。正しい礼拝は、全焼のささげ物としてのキリストをもって神を満足させる事柄であり、また穀物のささげ物としてのキリストをもって満足し、この満足を神と分かち合う事柄です。2. 穀物のささげ物はすべて、祭壇の上で火によってささげられました。この事が表徴しているのは、キリストが彼の人性において食物として神にささげられ、火のテストを経過したということです。レビ記第2章の火は焼き尽くす神を表徴し、それは裁きのためではなく、受け入れるためです。火によって穀物のささげ物が焼き尽くされることは、神が彼の満足させる食物としてのキリストを受け入れたことを表徴します。

C. 穀物のささげ物は俗的な食物ではなく、福音の祭司の体系の中で神に仕えている真の実践的な祭司である、召会生活の中の信者たちのためだけの食物です。

D. 穀物のささげ物の祭司の分け前をパン種を入れずに聖なる場所で食べることが表徴するのは、私たちが命の供給としてのキリストを、罪(パン種)がなく、分離され、聖別された領域で、私たちの奉仕のために享受するという事です。集会の天幕は召会を予表するので、集会の天幕の庭で穀物のささげ物を食べることが表徴するのは、キリストが私たちの命の供給として、召会生活の範囲の中で享受されるべきであるということです。』

Ⅱ. 穀物のささげ物は、キリストの神・人の生活の複製である私たちのクリスチャン生活を予表します:

A. 私たちは、穀物のささげ物としてのキリストを食べるなら、私たちが食べたものとなり、私たちが食べたものによって生きます。

B. 私たちは、霊を活用して御言の中に具体化されているその霊に触れることによって、イエスの人の命と生活を食べ、イエスで構成され、イエスの人の生活は私たちの人の生活となります。彼の神性によって豊かにされた人性には以下の特徴があります: 1. イエスの人性は、すべての義を成就します。2. イエスの人性には、休む場所はありません。3. イエスの人性は、心の中でへりくだっています。4. イエスの人性は、弱い人々を愛します。5. イエスの人性は、柔軟です。6. イエスの人性は、他の人たちに仕えます。7. イエスの人性は、人々をはぐくみます。8. イエスの人性は、秩序正しく、だらしなくありません。9. イエスの人性は、時間によって制限されています。10. イエスの人性は、独特です。11. イエスの人性は、いつ涙すべきかを知っています。12. イエスの人性は、へりくだっています。』

5. 私たちは、十字架につけられたキリストを召会におけるすべての問題の解決として享受しなければなりません。
6. 私たちは、キリストをパン種のない宴席として享受しなければなりません。
7. 召会生活において天然の命は、塩によって、すなわちキリストの十字架によって殺されなければなりません。
8. 神が願っているのは、あらゆる地方召会が穀物のささげ物となって彼を満足させ、聖徒たちに満ち満ちた供給を日ごとに与えることです。これは、私たちが召会生活を食することを意味します。なぜなら、召会生活は私たちの日ごとの供給となるからです。』

E. 穀物のささげ物をパン種を入れて焼いてはならないことが表徴するのは、私たちがキリストの上で労苦して、命の供給としての彼にあずかることに、罪があつてはならないということです。
F. 穀物のささげ物の規則は、罪のためのささげ物と違犯のためのささげ物を指しています。この事が表徴するのは、私たちが命の供給としてのキリストを享受しようとするなら、私たちの墮落した性質における罪と、私たちの行為におけるもろもろの罪(違犯)を対処する必要があるということです。
G. 命の供給としてのキリストにあずかる者は、神聖な命において強くあるべきであり(男子)、また神に仕える者、神の祭司(アロンの子たち)であるべきです。
H. アロンが油塗られる日に、アロンとその子たちが穀物のささげ物をささげることが表徴するのは、キリストを命の供給として享受することが、祭司の奉仕と関係があるということです。
I. きめの細かい小麦粉十分の一エパを、常にささげる 穀物のささげ物として、半分を朝に、半分を夕にささげることが表徴するのは、キリストに対する享受の最上の分け前、すなわち十分の一が神のためであるべきであるということ、またキリストに対するこのような享受が、わたしたちの祭司の奉仕の中で継続すべきであるということです。

第一日: レビ2:1 さて、だれかが穀物のささげ物をささげ物としてエホバに献げるとき、その人のささげ物はきめの細かい小麦粉によるものでなければならぬ。彼はその上に油を注ぎ、その上に乳香を加えなければならぬ。4 あなたがささげ物として、かまどで焼いた穀物のささげ物を献げるとき、それはきめの細かい小麦粉によるもので、油を混ぜ合わせたパン種のない輪型の平らなパン、あるいは油を塗ったパン種のない極薄のパンでなければならぬ。

第二日: レビ2:11 あなたがたがエホバに献げる穀物のささげ物はどれも、パン種を入れて作ってはならない。なぜなら、あなたがたは少しのパン種や少しの蜜も、エホバへの火によるささげ物として焼いて煙を立ち上らせてはならないからである。13 あなたの穀物のささげ物はすべて、塩で塩づけなければならぬ。あなたは、あなたの穀物のささげ物から、あなたの神の契約の塩を欠いてはならない。あなたはすべてのささげ物と共に、塩を献げなければならぬ。

ガラテヤ2:20 わたしはキリストと共に十字架につけられました。生きているのはもはやわたしではありません。キリストがわたしの中に生きておられるのです。そしてわたしは今、肉体の中で生きているその命を、わたしを愛し、わたしのためにご自身を捨ててくださった神の御子の信仰の中で生きるのです。

第三日: ローマ8:6 肉に付けた思いは死ですが、霊に付けた思いは命と平安です。13 なぜなら、もし肉にしたがって生きるなら、あなたがたは死ななければならぬからです。しかし、その霊によって体の行ないを死に渡すなら、あなたがたは生きます。

第四日: Iコリント12:12 それは、体が一つであっても多くの肢体があり、体のすべての肢体が多くあっても一つの体であるように、キリストも同様だからです。10:17 一つパンであるからには、私たちは数が多くても一つからだなのです。それは、私たちがみなこの一つパンにあずかるからです。16:13 目を覚ましていなさい。その信仰にしっかり立ちなさい。完全に成長した人ごよみなさい。強めいなさい。

第五日: レビ6:14 さて、穀物のささげ物の規則は次のとおりである。アロンの子たちは、それを祭壇の前でエホバの御前に献げなければならぬ。16 その残ったものは、アロンとその子たちが食べることができる。パン種を入れずに聖なる場所でそれを食べ、集会の天幕の庭でそれを食べなければならぬ。

ローマ8:2 なぜなら、命の霊の法規が、キリスト・イエスの中で、罪と死の法規から、私を解放したからです。

第六日: レビ6:17 それは、パン種を入れて焼いてはならない。私は私の火によるささげ物から、それを彼らの分け前として与えた。それは、罪のためのささげ物のように、また違犯のためのささげ物のように、最も聖ものである。18 アロンの子たちのうち男子はすべて、それを食べることができる。それはあなたがたの代々にわたる永遠のおきてであり、エホバの火によるささげ物からのものである。それらに触れる者はだれでも聖となる。

《預言の準備》

経験①: 召会生活の中で御言葉を祈り読みして、内側がイエスで構成される

私たちは穀物のささげ物としてのキリストを食べるなら、キリストで構成されます。主イエスは地上におられたとき、きめの細かい小麦粉であり、聖霊で油塗られており、常に塩づけられており、復活の中で生き、乳香のかおりがありました。しかし彼にはパン種も蜜もありませんでした。ですから、彼は穀物のささげ物であることができました。

今日私たちについても状態は同じであるべきです。これは、私たちのクリスチャン生活がキリストの生活の複製、複写であるべきであることを意味します。ローマ人への手紙第8章はキリストと私たちと一緒にします。ここでキリストの人性、命の霊、十字架、復活が、私たちを一つに共に包みました。これは私たちに、今日私たちが持つべき種類の生活を見せています。

私たちは自分自身の中で、主イエスのような人の生活をすることはできません。彼だけがそのような生活をするすることができます。しかし私たちは、いつでもイエスの言葉に来て、私たちの霊を活用して言葉を祈り読みすることによって、イエスを取ることができます。私たちはこうするとき、その霊に触れ、その霊は私たちの養いとしてのイエスをもって私たちを供給します。私たちは自分が食べるものであるので、イエスを食べれば食べるほど、ますますイエスで構成されます。イエスの人の生活を食うことによって、彼の生活は私たちのものとなります。自然に、何の自己の努力もなく、私たちはイエスのようにへりくだり、聖となるでしょう。これが私たちの食物としてのイエスを享受し、私たちが資格づけられて神に仕える生活をするのです。

マタイによる福音書で、主イエスは言っておられます、「私は心の柔和なへりくだった者であるから、私のくびきを負い、私から学びなさい」(11:29)。イエスは、自分は外見の柔和なへりくだった者であると言ったのではなく、心の柔和なへりくだった者であると言われました。多くの時、私たちはとても柔和でへりくだっているように見えるかもしれませんが、内側では傲慢で高ぶっています。これは決して召会生活を建て上げることができません。イエスの人性は最高の人性です。これが真の穀物のささげ物です。

中高生編

あなたは内側でクリスチャンになること、内側でキリストの卓越した人性を経験することを学んでください。学校の教育や社会の道徳には神聖な光がないので、内側の状況を徹底的に暴露せず、外側の状態に注意を払います。しかしもしあなたが外側だけを繕うのであれば、困難な環境が起こると内側の真の状態があらわになります。

召会生活の中で、神は真実であり、実際であり、光です。人の内側を照らし、暴露します。主は心のへりくだった者であり、あなたはイエスの人性にあずかることで、心からへりくだった者になるべきです。召会生活は神の王国であり、人の内側に触れるので、人の根本的な問題に触れています。あなたは中高生の時から、内側が照らされ、暴露されて、自分の罪、欠点、弱さなどを告白することを経験してください。このような経験は人の内側の根本的な問題に触れるので、キリストと召会を伴う学校生活の経験は、キリストと召会のない学校生活よりもはるかに優れています。キリストと召会を伴った学校生活で、あなたが内側からクリスチャンになることを学ぶことができれば、大学生になる頃には、あなたの人間性は同級生よりもはるかに優れているでしょう。

詩篇84:10 まことに、あなたの外庭にいる一日は、よその千日にもまさります。

例えばクラスである人がいじめられています。ある人はいじめられないため、いじめに自分も加わります。別の人はいじめを見て見ぬふりをします。これは、世の中の道徳教育は善いものであっても、内側を徹底的に暴露せず、内側に正義感を育成しないことを示しています。あなたはクリスチャンとして、このような状況から逃げようとする自分の罪を告白し、主との交わりの中で、知恵を持って先生やクラスメイトと話し合い、いじめられている人に同情と憐れみを示す必要があります。このことを行なうとき、あなたを導いている兄弟姉妹とも交わり、彼らに祈ってもらい、彼らから助けを受ける必要もあります。

経験②: 輪型の平らなパンの穀物のささげ物である召会生活によって養われる

穀物のささげ物は、油を混ぜ合わせた小麦粉の形であるか、あるいは輪型の平らなパンの形であるかです。小麦粉の穀物のささげ物は個人のキリストを表徴します。それはまた個人のクリスチャンを表徴します。輪型の平らなパンの穀物のささげ物は団体のキリスト、からだ、召会を伴うキリストを表徴します。新約は、個人のキリストが、輪型の平らなパンで表徴される団体のキリストになったことを啓示しています。パウロは言います、「一つパンであるからには、私たちは数が多くても一つからだなのです。それは、私たちがみなこの一つパンにあずかるからです」。この一つパンは「輪型の平らなパン」です。穀物のささげ物には個人の面があり、また団体の面もあります。今日キリストは、単に個人的な方法で生きておられるのではありません。彼はまた彼のからだ、召会と共に生きておられます。キリストは神の御前に団体的な方法で生きておられます。彼はかしらであり、彼のからだとその肢体を持っておられます。ですから、輪型の平らなパンの形をした穀物のささげ物には召会生活があるのです。

召会生活のために、私たちは油塗られた人、その霊によって、その霊をもって油塗られた者となる必要があります。さらに、私たちはパン種や蜜を持つべきではなく、塩と乳香を持つべきです。私たちの生活に多くの塩、十字架の死が適用されるべきであり、私たちは復活に満ちているべきです。これが正常な召会生活です。…塩がなければ、穀物のささげ物はありません。穀物のささげ物は、塩づけられなければなりません。召会生活の中で、天然の命と天然の愛情は対処されるべきです。これは、召会生活に蜜があるべきではないことを意味します。私たちはみな天然であること、天然の命を生きることを好みますが、召会生活の中で天然の命は許されていません。それは死に渡されなければなりません。

在職青年編

穀物のささげ物には、キリストの個人の面と召会生活の団体の面とがあります。あなたは穀物のささげ物であるキリストを食べるだけでなく、穀物のささげ物である召会生活をも食べるべきです。穀物のささげ物はきめの細かい小麦粉(イエスの人性)に聖霊を表徴する油が混ぜ合わされ、十字架を表徴する塩と、復活を表徴する乳香が加えられています。また穀物のささげ物には、罪を表徴するパン種と天然の愛を表徴する蜜がありません。このように見ていくと、穀物のささげ物は、あなたにとって真の健康食品であることが分かります。

あなたは霊を活用して祈り読みし、御言葉の中に具体化されているその霊に触れることによってイエスで構成され、イエスの人の生活をあなたの人の生活とならせることができます。またあなたは召会生活の中で、団体的な穀物のささげ物を食べることができます。家庭集会、小組集会、主日の地区集会の中で、兄弟姉妹の交わりを、霊を活用して、思いを霊に付けて、注意深く聞いてください。さらにあなたは自分が享受したものを他の人に供給してください。このように互いに教え、皆が語る集会は、あなたを養う輪型の平らなパンの穀物のささげ物です。

魚崎集会所購入に関する兄弟の証し: 京都大学大学院の留学生の新人の兄弟とその姉妹は、週末に神戸に来て召会生活を送っていました。彼らは卒業間際に、本山集会所の近くにマンションを購入する負担を主から受けました。私はそのことを聞いて、なぜ買おうとするのか不思議に思いました。よく話を聞くと、彼らは今後来る留学生のために購入したいということでした。私は彼らのこのようなささげることに深く感動し、照らされました。その後、おもだった兄弟姉妹との祈りと交わりにより、主が第二集会所を購入するように導かれているように感じたので、物件を探し、二か月後の2004年11月に魚崎の集会所を市場価格の約三分の一の価格で購入することができました。これは、当時政府が銀行の不良債権処理を強力に進めていたからであり、2005年1月以降には、そのような物件はもうありませんでした。私は召会生活の中で新人の兄弟のささげることの証しに養われて、タイムリーに魚崎集会所を購入するに至ったことを証しできます。

2. たねせい長し、小むぎを生み出す。
いのちはつ芽し、はたらきつづく。
ひとつぶだけでは表現とならず、
むぎつぶはともにブレンドされる。
このたねはイエス！小むぎもイエス！
むぎつぶはともにブレンドされる。
3. 個人の小麦も自由ではなく、
つぶはともにひかれ、こなる。
小麦はパンにかたちづけられ、
ちよう和し、からだをけいせいする。
われらはひかれ、うちなる主は、
個人のつぶをからだに構成する。
4. こくもつはのう場でせいちょうし、
クリスチャンはせい長しいちとなる。
それはしょう会を建ぞうするため、
かみとひとはともにホームを持つ。
かみののう場は建ぞうのため、
かみ、ひとともに住み、いちとなる。
7. のうじょうに植えられ、せいちょうし、
小麦となり、こくもつひかれる。
建ぞうのため、つくり変えられて、
金、ぎん、宝せきにけいせいされる。
農場より宝せき生み出されて、
主は価値ある真珠、はなよめ得る。

1242 The Lord, the seed of life, has sown

2. The growth of Christ, the seed, in us
Will soon produce the wheat,
The life within break forth—yet work
Divine is not complete;
For wheat alone can never be
The seed's expression true;
So all the grains must blend together
Into something new.
The seed is simply Jesus;
Now wheat is Jesus too!
The grains of wheat must blend
Together into something new.

3. The individual grains of wheat
No longer must be free,
But crushed together, ground to powder,
Every grain must be,
Until the wheat becomes the meal
From which the loaf is formed
Till all the saints will blend and to
His Body be conformed.
We all must take the grinding
until the Christ within
Can mold into His Body all the
individual grains.
4. The seed is planted, wheat is grown
And meal is the sum
Of all the growth upon God's farm,
Where Christians grow as one;
But all the growth in life is for
The building of the church,
That God and man may have a home
And both may end their search.
The farm is for the building,
for God and man a home,
Where both may dwell among
His people gathered into one.
7. The growth in life begins when planted
On God's farm we're found:
The growing seed becomes the wheat
From which the meal is ground.
But building work proceeds when meal
Submits to be transformed;
Then gold and silver, precious stones
For building will be formed.
The farm is for the building,
built up by precious stones,
From which the priceless pearl comes
forth to be His Bride, His own.

1. 主是生命種子，已經撒在我們心裡，
祂要發苗漸漸長大，長成祂的身量。
祂不需要規條，儀文，只需活水澆灌；
藉此，包羅萬有生命，就要逐漸成長。
何等奇妙的種子，就是耶穌我主，
祂撒在我的裡面，長大並達到成熟。
2. 我們許多個別麥粒，不能沾沾自喜，
所有麥粒必須，一起接受搗碎磨細；
直到麥子磨成細麵，並作成一個餅，
所有聖徒相調為一，模成主的身體。
我們都須被磨細，直到失去自己，
所有個別麥粒，都模成祂一個身體。
3. 種子已種，麥子長成，細麵是那成品，
我們乃是神的田地，在合一裡長進。
所有生命的長大，是為著建造召會，
讓神和人得一居所，不再無家可歸。
生命是為著建造，神與人可安息，
在此神與祂子民，大家都和睦同居。
4. 神的建造乃在於，精金、寶石和銀子，
為著變化，細麵需經多少壓榨苦楚！
麥子不能停在細麵階段，自滿自足，
必須經過生命變化，成為金銀寶石。
細麵須經歷痛苦，纔能變成寶石；
然後建造在一起，完全達到祂旨意。
5. 生命變化完全成熟，結出一顆珍珠，
簡單、珍貴、包羅萬有，且是滿有價值。
榮耀之主死而復活，經過生產之苦，
終於得著召會一新婦，叫祂心滿意足。
珍珠是祂心所要，新婦是祂所悅；
這是祂心愛配偶，單純淨、又寶貝
6. 願主保守我們靈裡貧窮，清心向主；
使我們作好土，生命種子長大，豐富。
直到目標達到，同被建造，你能滿足，
得著無價至寶一珍珠，就是你的新婦。
主，倒空我們的靈，使我們心純淨，
叫我們生命成熟，成為你心愛新婦